

# だいにぎ議会だより



満開の桜と奥久慈清流ライン

新年度予算を可決	(2)
平成26年度の主な事業	(3)
第1回定例会で審議された議案	(5)
一般質問(10人が登壇し、町政を問う)	(7)～(16)
表紙の写真募集	(17)
議員自治研究会・人事・あしがき	(18)



# 平成26年度一般会計予算 116億1,000万円

## 平成26年 第1回定例会

平成26年第1回定例会が3月5日から17日までの13日間の会期で開かれ、一般会計・特別会計予算、人事案件など、町長提出議案33件が審議され原案どおり可決しました。また、常任委員会及び議会運営委員会委員の改選に伴い新委員の選任が行われました。

一般質問では、10人の議員が登壇し、町政全般について質問が展開されました。

ふるさとに誇りを持ち、  
お互いが支え合い、  
助け合いがある町づくりを推進

予算編成に当たっては、町民の安全・安心の確保、防災対策、中心市街地の活性化を優先課題としながら、第5次総合計画及び中期的な財政収支見通しに沿って、必要性、緊急性の高いものや課題解決に向け有効な事務事業に重点配分し、職員の定員管理や事務事業評価等による歳出縮減を図る一方、町税や使用料・手数料等の自主財源を適切に確保し、国県補助金等の特定財源に関する情報収集と活用にも積極的  
に取り組み、安全・安心のまちづくり、安心して暮らせるまちづくり、活力あるまちづくり、豊かな人間性と子どもたちの学力を伸ばすまちづくりを柱に各種施策(別表「平成26年度の主な事業」)を行い「ふるさとに誇りを持ち、お互いが支え合い、助け合いがある町づくり」を推進することとしました。

この結果、一般会計予算の総額は116億1,000万円、前年度当初予算に比べ27億2,500万円(30.7%)の増となり、一般会計、特別会計及び企業会計を合わせた総額は、181億2,411万7千円、前年度当初予算に比べ29億8,584万4千円(19.7%)の増となります。

### 平成26年度 各会計予算

会計別		予算額	前年度比較(△減)
一般会計		116億1,000万円	27億2,500万円
特別会計	国民健康保険事業	27億5,998万円	△1億1,526万2千円
	後期高齢者医療	2億3,752万2千円	△410万9千円
	介護保険	22億5,105万1千円	△2,231万4千円
	介護サービス事業	2,024万6千円	215万7千円
	浄化槽整備事業	1億927万4千円	185万9千円
水道事業会計		11億3,604万4千円	3億9,851万3千円
総額		181億2,411万7千円	29億8,584万4千円



## 平成26年度の主な事業

ふるさとに誇りを持ち、お互いが支え合い、助け合いがある町づくりを目指して！

### 安全・安心のまちづくり

- ・生活道路の改良工事…………… 3億7,865万8千円
- ・水槽付消防ポンプ自動車の整備…………… 5,335万2千円
- ・自主防災組織活動推進事業…………… 2,650万7千円
- ・コミュニティFM放送受信困難地域の調査…………… 1,354万4千円
- ・橋りょう長寿命化のための点検及び計画策定業務……………960万円

### 安心して暮らせるまちづくり

#### ①高齢者等弱者に対する福祉の向上

- ・高齢者等にタクシー利用券を交付する「タクシー利用助成事業」…………… 1,155万6千円
- ・通報装置を家庭に設置する「緊急通報体制整備事業」…………… 285万9千円
- ・一人暮らしの高齢者等の安否を確認する「安心コール事業」…………… 157万7千円

#### ②若者の定住化促進・子育て世代への支援

- ・放課後の子どもたちの居場所をつくる「放課後子ども教室事業」…………… 1,743万4千円
- ・子育て世帯の住宅建築を支援する「子育て世帯住宅建設等助成事業」…………… 1,300万円
- ・結婚に対する意識の向上を図る「結婚シンポジウム事業」…………… 53万円

#### ③廃棄物処理等の生活環境施設の整備

- ・廃棄物処理施設整備事業…………… 21億3,352万3千円

#### ④保健衛生の向上・健康の増進

- ・がん検診推進事業、各種検診委託事業、予防接種委託事業…………… 6,274万7千円
- ・人間ドック・脳ドック健診への助成…………… 1,005万円

### 活力あるまちづくり

#### ①町民参加のまちづくり

- ・プレミアム商品券の発行助成事業…………… 2,400万円
- ・町を鮮やかに彩る「町内イルミネーション装飾事業」…………… 1,163万2千円
- ・町民の発想による活動を支援する「町民発想地域づくり助成事業」…………… 315万7千円

#### ②観光資源を活かしたまちづくり

- ・国道461号バイパス周辺の活性化のための「都市再生整備計画事業」…………… 6,421万1千円
- ・地域資源を利用して町の活性化を促進する「地域おこし協力隊事業」…………… 2,097万9千円
- ・水郡線開通80周年を記念して行う「水郡線SL運行事業」…………… 1,074万7千円

#### ③農林業の基盤づくり

- ・森林機能緊急回復整備事業…………… 7,199万6千円
- ・優良種の導入補助等「畜産・酪農振興事業」…………… 939万4千円
- ・「有害鳥獣捕獲報奨金」、「有害鳥獣被害防止対策助成」…………… 490万5千円

### 豊かな人間性と子どもたちの学力を伸ばすまちづくり

- ・児童・生徒の英語力向上のための「英語指導助手招致事業」…………… 1,671万9千円
- ・スクールバス運行业務委託事業…………… 6,614万7千円
- ・町民の心を豊かにする「文化福社会館公演事業」…………… 1,006万4千円

# 平成25年度一般会計補正予算は 5,144万4千円の増額

平成25年度大子町一般会計補正予算（第8号）の主なものは別表のとおりです。補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ94億1,471万5千円となります。

また、国民健康保険事業特別会計1億4,676万9千円の減、介護保険特別会計63万円の増、浄化槽整備事業特別会計987万7千円の減の補正がありました。

## 一般会計補正予算の主なもの

歳 入	補 正 額
町 税	1 億円
国 庫 支 出 金	1,871万 2 千円
財 産 収 入	165万 1 千円
繰 越 金	1 億8,367万 8 千円



歳 出	補 正 額
廃 棄 物 処 理 施 設 整 備 事 業 費	△ 2 億2,263万円
茨城消防救急無線・指令センター運営協議会負担金	△ 4,051万 6 千円
減 債 基 金 元 金 積 立 金	2 億5,000万円
財 政 調 整 基 金 元 金 積 立 金	1 億9,030万 9 千円
子ども・子育て支援新制度システム等構築業務委託料	756万円

## 一般会計補正予算（第9号）

第1回定例会最終日に、追加議案として給食センター用備品の更新費用（219万5千円）に係る補正予算が提案され、原案どおり可決されました。補正に要する財源には地方交付税が見込まれており、補正後の予算総額は歳入歳出それぞれ94億1691万円となります。

## 第1回臨時会

平成26年1月30日に第1回臨時会が開催されました。

### ◇審議された議案

○大子町立小学校教育用コンピュータの取得について

・取得価格  
（コンピュータ及び周辺機器）  
6195万円

・契約業者  
日興通信（株）水戸支店

原案可決

## 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第2号	平成25年度大子町一般会計補正予算（第7号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第3号	行政組織の変更に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
議案第4号	大子町地区計画等の案の作成手続に関する条例	原案可決
議案第5号	大子町消防長及び消防署長の資格を定める条例	原案可決
議案第6号	大子町社会教育委員の設置に関する条例	原案可決
議案第7号	大子町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第8号	大子町手数料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第9号	大子町コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第10号	大子町営浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第11号	大子広域公園オートキャンプ場の管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第12号	大子町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第13号	大子町水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第14号	大子町火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第15号	大子町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第16号	茨城消防救急デジタル無線及び高機能消防共同指令センター整備工事請負契約の締結について	原案可決
議案第17号	大子町過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
議案第18号	大子町教育委員会委員の任命について	原案同意
議案第19号	大子町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意
議案第20号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
議案第21号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
議案第22号	平成25年度大子町一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議案第23号	平成25年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第24号	平成25年度大子町介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第25号	平成25年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第26号	平成26年度大子町一般会計予算	原案可決
議案第27号	平成26年度大子町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第28号	平成26年度大子町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第29号	平成26年度大子町介護保険特別会計予算	原案可決
議案第30号	平成26年度大子町介護サービス事業特別会計予算	原案可決
議案第31号	平成26年度大子町浄化槽整備事業特別会計予算	原案可決
議案第32号	平成26年度大子町水道事業会計予算	原案可決
議案第33号	大子町営駐車場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第34号	平成25年度大子町一般会計補正予算（第9号）	原案可決
	常任委員会委員の選任について	指 名
	議会運営委員会委員の選任について	指 名

## 議案の賛否状況

採決に当たり、意見が分かれた議案の賛否状況をお知らせします。

議案番号	議案名	賛否数		議 員 名														
		賛成	反対	菊池靖一	櫻岡義信	中郡一彦	岡田敏克	大森勝夫	金澤真人	齋藤忠一	佐藤正弘	鈴木陸郎	藤田友晴	藤田 稔	野内健一	藤田 健	吉成好信	小林秀次
10号	大子町営浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	13	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○
11号	大子広域公園オートキャンプ場の管理に関する条例の一部を改正する条例	13	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○
13号	大子町水道事業給水条例の一部を改正する条例	13	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○
26号	平成26年度大子町一般会計予算	13	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○
27号	平成26年度大子町国民健康保険事業特別会計予算	13	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○
28号	平成26年度大子町後期高齢者医療特別会計予算	13	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○
32号	平成26年度大子町水道事業会計予算	13	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○
33号	大子町営駐車場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	13	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○

※○=賛成、×=反対、欠=欠席 議長（吉成好信議員）は採決に加わりません。

## 常任委員会等の構成

		委員長	副委員長	委 員		
常任委員会	総 務	藤田友晴	櫻岡義信	大森勝夫	齋藤忠一	藤田 稔
	産業建設	鈴木陸郎	中郡一彦	藤田 健	吉成好信	小林秀次
	文教厚生	金澤真人	佐藤正弘	菊池靖一	岡田敏克	野内健一
議会運営委員会		菊池靖一	金澤真人	鈴木陸郎	藤田友晴	藤田 健

平成26年4月8日に第2回臨時会が開催されました。

第2回  
臨時会

### ◇審議された議案

○大子町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて

○大子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて  
○平成25年度大子町一般会計補正予算(第10号)の専決処分の承認を求めることについて

○平成25年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)の専決処分の承認を求めることについて

以上 原案承認  
○大子町副町長の選任について

原案同意



# 一般質問

## 地域包括ケアシステムの構築は

### 答 2025年を目途に整備を推進



野内健一 議員

**問** 地域包括ケアシステムとは、介護を受けられる人が医療・介護・介護予防・生活支援・住居を住みながら自宅や地域で一体的に受けられる制度のことであり、今後、各自自治体ではこの制度の構築が最優先の課題となる。大子町の現状は、高齢者の増加に伴って認知症の人が増加しているが、その対策は。

**答 町長**

地域包括支援センターの職員が認知症介護アドバイザーの資格を取得して、各

地域で自主活動を実践している。いきいきサロンでは、認知症サポーター養成講座を実施し、現在までに238名の認知症サポーターを養成している。今後の対策は、認知症になっても本人の意思が尊重され、住みながら地域で暮らし続けられるような支援体制（認知症の早期診断、医療、介護、生活支援）を包括的に行う体制を整備したいと考える。

**問** その整備にどのくらいの年数が必要か。

**答 町長**

2025年を目途に整備を進めていく。

**問** 地域包括ケアシステムを構築していく上で、人材の育成は最も重要と考える。生活支援と介護予防をモデルとした有償ボランティアの活動実績は。

**答 町長**

有償ボランティア制度は在宅福祉サービスタワーとして、社会福祉協議会が大子町在宅福祉サービスタワーとして実施している。現在、協力会員は21名の登録で利用会員は120名。活動内容は、食事の支度、世話、病院への通院の付き添い、掃除、洗濯、買い物、外出の介助、話し合い、留守番等のサービスタワーを実施。利用料金は、1回の利用が1時間以内500円、土日祝日は600円となっている。利用者にとっては非常に使い勝手のいいものであるが、協力会員が少ない状況であるので、会員登録者の増加を図っている。

**問** 行政や社会福祉協議会が中心となって実施している有償ボランティア制度に

ついて、NPO等の民間団体から実施したいとの相談や問い合わせが行政に届いているか。

**答 福祉課長**

今のところNPO等からの相談は窓口に来ていません。

**問** 現時点では、町内にある介護施設は、ロボットや利便性の高い福祉用具の設置購入についての相談を国や県に対して行っているが、希望通りになっていないのが現状である。施設事業者と町行政が一緒になった活動は出来ないか。

**答 町長**

町行政に対してそのような考えがあるのかどうか、各施設のご意見を伺いたい。



大子町保健センター

### 代読・代筆の支援は全ての希望者へ

**問** 行政からの案内文書や行政への申請書、金融機関からの通知書等で、代読・代筆の支援が必要な高齢者が多くなっているが対策は。

**答 町長**

希望者は全員、支援を受けられるような体制を確立しなければと考える。

# 一般質問

## ふるさと納税の積極的な取組を

### 答制度の周知の仕方を見直し進める



菊池靖一 議員

る制度の周知、大子ふるさと応援サポーター及びふるさと納税ポータルサイトの活用を図っていきたい。

問 阿見町は予科練平和記念館を設立する際に、この制度を使い2千万円位集めている。大子町も活用する

事業などを明確にして呼びかけると良いのではないかと

答 町長 いろいろな案があると思うので、今後ふるさと納税の周知の仕方を見直していきたい。

### ごみの再資源化を行う

#### 企業誘致の考えは

問 ふるさと納税は平成20年に始まった制度で、リスカの武藤社長が寄附した1億円が当時大変話題になり、武藤文化福祉基金を設立して現在も活用している。自主財源の乏しい中、この制度をうまく活用すべきではないか。

問 平成27年度から新環境センターが稼働するに当たり、厳しい財政状況の中で私たち住民の協力や努力で収入を上げたり、コストを削減したりなど出来ることはないか。

答 町長 ごみの減量化や分別は、減らす、再利用、再生利用の3つの実践である。分別をしっかりとすることは商品としての価値が上がります。ごみの減量化になる。ごみの中の4割が生ごみで、食べ残したものが36%、その中で手つかずの食品が14%あると言われている。必要以上に購入せず、ごみにしないことが経費の軽減になる。

答 町長 ここ3年間の状況は毎年110万円前後で推移をしている。今後推進すべき具体策として、返品品として贈る町特産品の拡充、ホテル、旅館での宿泊客に対す

問 福岡県大牟田市では、民間企業が紙おむつなどの再資源化を行っている。大子町もこのような企業の誘

致に力を入れてはどうか。

答 町長 そういった企業が来て頂ければ最高にありがたい。特にごみの減量化において

は生ごみを少しでも活用できないか考えて、それに類似した企業誘致を進めていきたい。

### 町立・地区集会所の

#### 公平な支援の考えは

問 町立集会所と地区集会所では住民の負担に差がある。地域のコミュニティの場としてなくてはならないものであり公平な援助をすることが望ましいと思うが考えは。

答 町長

世帯数の減少や高齢化、公共料金値上げの中、区費の増加が見込めない状況かと思われるので、地区集会所の支援策について一層の充実を図っていきたい。



地区集会所（後冥賀集会所）

### その他の質問

○町の将来像について  
○久慈川の魅力を生かす取

り組みについて  
○東京理科大(旧大子二高)の施設について  
○防火水槽の充足率について



# 一般質問

## 危機意識等が不足しているのでは

### 答 議員提案を開発公社と進める



岡田敏克 議員

**問** FMだいがの局員は危機意識、認識、管理が不足し、本来の目的を忘れているのではないか。大地震での確な情報が伝わらなかつた教訓をもとに、町民の生命と安全を守る目的で誕生したのがFMだいごである。音楽を流しているだけの目的ではないはず。具体的にいうと、1月1日の大子町中心地での火災発生や1月28日の相川での火災等である。1日の午後10時15分に火災発生、FM局長の携帯電話に連絡したが気づ

かず、約2時間後の午後11時55分に局長と局員が局舎にきた。翌日午前2時35分に別局員に連絡したが、来たのは午前6時10分。これらことから緊急時の危機認識がずれていると思われる。水道業務で使用している業務用携帯電話を局長・局員に持たせ、夜中でも連絡が取れるよう検討すべきでは。

**答 町長**  
開発公社にそういう方向で進めていただくよう話を進める。

**問** 平成24年2月12日に大子町中心地で火災が発生し2棟が全焼した。その時の反省点として中心地での火

災に対しては「今後、役場のサイレンを吹鳴します」と明言した。今回、役場のサイレンは吹鳴したか。

**答 消防長**

役場のサイレンは吹鳴させたが、役場敷地内の第1分団車庫のサイレンは吹鳴しておりません。



「FMだいご」放送局

**問** 消防団員がカギを持ったまま消火していたため、サイレンボックスは鍵がかかったままで鳴らせなかったのではないか。

**答 消防長**

鍵をかけたままになっていました。

### 児童虐待の大多子町の現状は

**問** 「児童虐待は何人も児童に対し虐待をしてはならない」と児童に対する虐待の禁止が定められている。県内では平成24年度に864件発生（相談受付1041件）したが、大多子町では何件あったか。

**答 町長**

身体的虐待4件である。

**問** 私の調べでは5件（保育所2件、小学校2件、中学校1件）である。

**答 福祉課長**

身体的虐待が4件、もう1件は不登校児童で、計5件です。

**問** 平成25年度は何件か。

**答 町長**

**問** 鍵をかけずに、有事の際は役場宿直員に協力いただき鳴らしてもらっては。

**答 消防長**

役場のサイレンは連絡して吹鳴している。第1分団車庫のサイレンは、現在、鍵はかかっていない。

2件である。

**問** 私の調べでは3件（保育所1件、小学校1件、中学校1件）である。町担当課、教育関係者からこれまで議会に報告も話もない。隠ぺいしているのか。いじめや不登校問題と同じである。反省を込めてきちんと報告すべきでは。

**答 町長**

今後は件数については報告したい。

### その他の質問

○大多子町職員の再任用について

# 一般質問

## 町の財政を圧迫しないか

### 答 十分対応できると判断している



藤田 稔 議員

い。

問 ワークショップの人選方法は。

答 企画観光課長

公募も含め人選したい。

問 将来の町の財政を圧迫するようないことはないか。

答 財政課長

25年度末で財政調整基金は約17億円、減債基金は約11億円である。計画に十分対応できると判断している。

問 廃棄物処理施設、

町営池田住宅整備の償還計画は。

答 財政課長

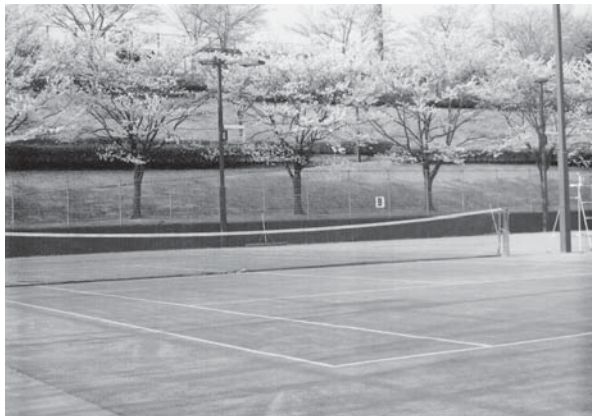
廃棄物処理施設は、総事業費約27億9千万円を予定している。31年から40年では年1億4千7百万円程度を返すことになる。町営池田住宅は、事業費約9

中心市街地を活性化することは喫緊の課題である。多くの意見等を取り入れて26年度中の策定を目指す。

問 策定スケジュールは。

答 企画室長

3月末に概要版を回覧して意見を募集する。5月にアンケート調査を実施し、ワークショップを立ち上げ、10月には取りまとめた



改修された大子広域公園テニスコート

い者に広げ、利用料金の2分の1の額を助成する。

問 国の「子ども、子育て支援新制度」策定において放課後児童クラブ、子ども教室の統合も検討したいとなっているが。

答 町長

大子町子ども・子育て会議を発足しニーズ調査と集計、分析を行っている。今後2つの事業の見直しや統合に向けた検討もする。

問 スポーツの振興や交流

人口の増加を図るうえで各種競技大会等ができる施設

の整備を今から進めていくべきではないか。

答 町長

大子広域公園は、テニスコート3面の改修工事が完了するが、国土交通省所管補助金等交付規則第11条で定める処分の制限期間(30年)により、各種大会競技施設の整備は困難である。

しかし、町には宿泊施設等もあるのでスポーツ活動団体が来ていただけるよう関係機関と連携し、施設整備等も含めて検討したい。

## 町民の参加や他の事業との連携は

問 町内イルミネーション

装飾事業が実施される。町民の参加や袋田の滝ライトアップ事業との連携は。また、事業と併せた企画は。

答 町長

駅前通りの住居や店舗の軒先等をお借りしたい。また、松沼のイルミネーションも含めて冬のイベントの目玉となる事業にしたい。

問 町民自らイルミネーションの装飾等をする町民

企画も大切と思うが。

答 町長

今後協議したい。

問 町の活性化に向け取り組んでいる各団体への支援はどうか。

答 町長

町としてもできる範囲で支援していきたい。



# 一般質問

## 町内の観光開発と観光地の整備を

### 答もみじ寺・鰐ヶ淵の周辺整備を進める



中郡一彦 議員

有名になった永源寺には近年観光客が増加しており、駐車場やトイレなどの周辺整備が必要であると思うが。

答 町長

問 町長はこれから5年間で50万人を誘客する計画であるが、どのような施策を考えているのか。

答 町長

茨城空港路線を利用し就航先の名古屋、神戸、福岡などで観光PR等を行い大子町の魅力を発信していく。また、誘客対策業務を協定している(株)JT Bへ委託をして遠方からの増加を図っていききたい。

問 町内の観光地の開発や整備を積極的に行うべきではないか。もみじ寺として

近から押川のもみじ寺付近までの川沿いに桜などを植栽しての散策道などはどうか。

答 町長

歩道を整備する計画を考えているが、樹木の植栽は地元の方の同意が必要であり、難しいと考えている。

秋の行楽シーズンには数万人の観光客がもみじ寺に来ており、大子町の観光地の一つに定着した感じである。町として、様々な方向から整備をしていきたい。

問 久慈川の下津原にある鰐ヶ淵は景勝地の一つだと思うが、遊歩道などの観光整備を行ってはどうか。

答 町長

鰐ヶ淵周辺は茨城国体カヌー競技会場になる予定だ。地元と協議しながら園路等の整備を進めていく。

問 久慈川のやな場付



茨城国体カヌー競技会場に予定されている鰐ヶ淵

### 積雪時の除雪対策と融雪剤の配布は

問 20数年ぶりの大雪で町も除雪の対応で大変であった。業者の数にも所有している機械の数にも限界がある。民間所有の機械を積極的に活用すべきでは。

答 町長

今回のような積雪量になると建設業者だけでは対応しきれない。民間所有の機械を借り、機械の借上料や運転手の人件費等を町が負担して、除雪に積極的な対応をしていきたい。

問 役場に行けば融雪剤を無料でいただけるが、身近な各コミュニティセンター、集会所、地域の状況によっては区長さんのところなどに冬期間だけ備蓄しては。

答 町長

融雪剤は管理が難しい。地域で管理を徹底して無駄なく使っていたら、配布することが可能である。

### 浅川ささらなど文化財の保護は

問 浅川のささらなど伝統的文化財を保護することは大事なことである。高齢化が進み祭りの後継者不足により継承するのが大変な時期にきている。町としての継承と保護に対する考えは。

答 町長

保存会から保管と展示に関する要望書をいただいた。そういう場所を設けることも考えている。継承については、ささら舞を町のイベントの時などに披露して、後世に伝えるよう努力したいと考えている。

### その他の質問

○ノロウイルス中毒の予防策について

○子育て支援事業のあり方について

○中心市街地活性化構想について



# 一般質問

## 八溝山周辺地域定住自立圏協定は

### 答 短期的なことを大田原市と連携する



鈴木陸郎 議員

提案したい。

**問** 鳥獣害防止策（イノシシ被害）で棚倉町、埴町が不参加なので、働きかけをすべきと思うが。

**答 町長**

大きなエリアで駆除すべきと考えている。参加の要望をする。

**問** 県境の主要道路整備、特に大子那須線の改良は地域の願いであるが。

### 今後の教育行政は

**問** 確かな学力、健やかな体、豊かな心を育む教育のまちは。

**答 教育長**

町の特性を生かした教育の推進、少人数の学級、小規模の学校、保護者、地域、豊かな自然環境等の活用が重要と考える。児童・生徒

**答 町長**

大田原市長へ要望を伝える。

**問** 職員の相互人事交流事業では不参加としているが、人材育成の観点から実施すべきではないか。

**答 町長**

職員数が減少していることによるものであり、今後の協定内容の状況によって検討したい。

末の導入が考えられるが、高額であり慎重に検討したい。

**問** 中学校の統合問題を将来の教育のために時間をかけ検討すべきでは。

**答 教育長**

未統合中学校について、平成26年度に適正配置等検討委員会を組織し検討する。

**問** 子ども議会の開催は検討したか。

**答 教育長**

小・中学生によ

### 中心市街地活性化基本構想は

**問** 中心市街地活性化基本構想は都市計画のミニ版か。

**答 町長**

それとは違うが、安定した行政サービスを提供するには固定資産税の確保が重要であり、医療機関や金融機関などが集積されている中心市街地の活性化が不可欠と考える。

子ども議会は、大子町町村合併60周年の平成27年を目途に準備している。

**問** 中心市街地の活性化問題は、水郡線の活性化を考えるべき。JRと共同出資で複合施設をつくってはどうか。新道通りを医療厚生ゾーンとして整備しては。

**答 町長**

26年度にシルバーゾーンをつくる計画である。



少人数学級の授業風景（さはら小学校）

# 一般質問

## 災害時生活用水協力井戸の登録を

### 答 今後、検討していきたい



齋藤忠一 議員

地域内で除雪できる機械を持ち合わせている人などに呼び掛け、対応してもらっている人を登録しておいてはどうか。

答 町長

風水害等各種災害時にコミュニティFM放送施設整備事業において、災害時の緊急情報配信基準を設け、

迅速に町民の皆様へ情報を届けていく。また、これらについては各種訓練を行うとともに全行政区における自主防災組織の組織化とその支援に努め、万全な体制を構築していく。なお、議員の提案された内容をよく精査して対応していきたいと考えている。

### 生瀬地区のゴルフ場跡地の状況は

問 生瀬地区にあった2つのゴルフ場が閉鎖し、スパ袋田については、大規模太陽光発電事業に関する協定書を結び県内最大級となる大規模太陽光発電を設置するとあるが、住民への説明や現在の進捗状況はどうなっているか。

答 町長

発電所から送電線に接続する、高柴字戸ノ内までの県道と町道において、電力ケーブルを地下埋設する測量を行っており、おおむね4月中旬からクラブハウスの取り壊しや発電所の建設工事、道路への電力ケーブル埋設工事に着手する予定である。

### その他の質問

○平成26年度予算と新規事業について

○中心市街地活性化基本計画について

東日本大震災の際には、同時に長期の断水をもたらした。その時に、電気を使用する井戸は使えなかったが、落差などの井戸は大変貴重であった。水戸市などでは、災害時生活用水協力井戸を設置している。これは、提供していただける井戸を登録して、災害時における生活用水の確保及び公衆衛生の維持を図るとされている。ぜひ大子町でも取り組むべきではないか。

### 自主防災組織内に除雪隊の推進を



災害時の生活用水として見直されている井戸

問 近年、異常気象によりゲリラ的な豪雨や大雪などに見舞われることが多くなった。特に、大雪などにより、一人暮らしの高齢者の家などでは困難を極める

こともある。町道や通学路などは、現在業者に依頼して対応しているが、このような孤立をしかねる地域を緊急時に対応できるようにするためにも、前もって

自主防災組織内に除雪隊を推進することもある。町道や通学路などは、現在業者に依頼して対応しているが、このような孤立をしかねる地域を緊急時に対応できるようにするためにも、前もって

大規模太陽光発電事業に関する協定書に基づき、道路占有手続き、町有地の払い下げ、地区住民への周知など事業への協力を行っている。進捗状況は、土地の買収や各種許認可の申請、



# 一般質問

## 婚活支援の新たな取り組みは

### 答 出合い事業の実施団体を支援



大森勝夫 議員

企業連、スポーツ団体やマリッジサポーターなどが該当する。

**問** 地方を舞台とした婚活テレビ番組が人気を博している。婚活支援策の一環として大子町でも検討すべきではないか。

**答 町長** ある団体から話があり検討したところ、多額の費用負担や個人情報開示の事前公開などの問題から見送った経緯がある。婚活支援事業の実績を検証しながら展開を考える。

### 地域おこし協力隊の活動方針は

**問** 起業を目指す「地域おこし協力隊」の事業が始まる。選抜された隊員の事業方針は確定しているのか。

**答 町長**

隊員4名の採用を予定している。1人目は、ワサビ栽培の復活と占いを活用した観光振興。2人目は、明星大学と連携した学生インターンシップ事業と空き店舗を活用したアート村事業。3人目は、女性ハンター（猟師）による観光PRとお茶を使った特産品の開発。4人目は、リングを使った特産品の開発と中心市街地でのカフェ開設である。また、別枠として1名を採用予定。群馬大卒の女性で、スポーツを通じた地域振興に取り組んでもらう計画である。

**問** 関連する業界団体との協力体制が必要と思われる。連絡調整は進めているのか。

**答 町長**

生産者団体や地域の方との橋渡しを考えている。活動拠点として旧関東銀行大子支店の借上げ、隊員の住居に空き家を借り上げるなどの支援を考えている。

### 樹木葬霊園による

### 都市住民交流の検討を

**問** 都市住民の間で「樹木葬」という納骨手法が広がりつつある。芝生と樹木で整備された緑地公園に埋葬し、墓石も使わず継承者が不要という核家族を反映した自然葬の手法である。生前に景観の良い場所を選定し、定期的に訪問するなど公園のように利用される傾向があり、都市住民の今後の需要を想定すると、一般観光客に次ぐ交流人口層に成長する可能性がある。法的な許認可の観点から民間参入は想定できず、樹木葬霊園の整備は行政主導の分野と思われ、研究・検討の価値があると思うが、考

えは。

**答 町長**

新たな墓地開発は、費用面や地域住民の理解を得ることなど課題が多い。樹木葬墓地の開発についての考えは今のところない。

**問** 婚活支援は少子化問題に対する効果的な施策である。町主催の出合いイベントが26年度から民間団体に委託する方針となり、参加者の要望に対応した出合いイベントが実施できる期待が高まっている。支援する団体は想定しているのか。

**答 町長**

この補助事業は、出合いイベントを実施する団体の支援が目的で、町内で活動し、一定の要件を満たした団体や事業所を想定している。商工会、商店会、農協、



広がりつつある樹木葬霊園



# 一般質問

## 中心市街地活性化基本構想は

### 答 計画の変更を随時進めていく



佐藤正弘 議員

計画の変更を随時進めていく。

**問** 施設の整備で、観光客、町民の交流、町民生活の利便性をあげているが、町民の交通手段も困難をきたしている。将来の公共交通を考えるのが先ではないか。

**答 町長** 現在の公共交通の継続運行の支援を行うとともに、新たな交通弱者対策を進めている。将来の公共交通の在り方は、地域公共交通会議の中で検討していただく。

### F M ラジオの

### 受信環境整備は

**問** F M ラジオが配布されている世帯の中で正常に受信できない世帯数は。また、残りの地域に配布中だが、全世帯受信可能の対策は。

**答 町長** 受信困難等を理由に、担当課、F M だいがへの問い合わせは約60件程度あったが、T型簡易アンテナを設置することで全て受信可能になった。今後、難聴世帯、あるいは未受信世帯等の受信環境整備等の対応を早急に進める。

**問** 当初から全世帯の3.5%、360世帯の受信が難しいと見積もり、受信状況調査に1354万円、対策費に1千万円を計上しているが、1件当たりの費用が高いのではないのか。

**答 総務課長** 実際にその世帯がどのような受信方法が可能か、屋根、あるいは、裏山、簡易サテライト中継局の設置など受信方法を検討して報告してもらおう。業者からの見

積りで予算を計上した。

## 東海第二原発の再稼働、補償は



稼働後35年が経過し、老朽化した東海第二原発

**問** 共同通信社が東海第二原発の再稼働に關しアンケートを行ったが、大子町はどのように回答したのか。

**答 町長** 条件付きで容認すると答えた。

**問** どのような条件で容認すると答えたのか。

**答 町長** エネルギーの供給不足を視野に安全性を確保すること、住民の将来に対する不安の払拭を条件とした。

**問** 原発事故を起こした東京電力に対し2億5617万円の損害賠償請求をしているが、昨年の12月までに648万円しか賠償されて

いない。その後、増えているのか。また、今後の対策は。

**答 町長** その後、水道の検査費用など各種費用で1322万円受け取っており、累計で780万円になっている。引き続き賠償を求めるとともに、今後も風評被害等の損害についても賠償請求を行っていく。

**問** 都市再生整備計画事業では12億円を超える概算事業費となっている。中心市街地活性化構想が実際に基本計画まで、そのままいくと、相当の費用がかかる。町民につけを残し、町民の利益にならないのでは。

**答 町長**

この事業費は基本構想を進める概算事業費であって、今後の基本計画において変動するものであり、確定したものではない。都市再生整備計画については、そのような計画を踏まえ、

# 一般質問

## 3月までに町内全域聴取可能か

### 答難聴世帯は新年度早々に対応



金澤眞人 議員

のくらいと予想しているか。

答 町長

26年度からは当初予算として、広告料690万円、放送受託収入450万円、合計1140万円を見込んでいる。

問 端末のラジオの代金や受信環境改善対策工事も過疎債の適用範囲か。

答 町長

どちらも過疎債の適用になると考えている。

### 27年度敷設完了予定だが活用方法は

問 光ケーブルは26年度に設計、27年度に全地区敷設完了とのことだが、どのような利用を考えているか。

高齢化による回覧板回しの負担なども問題になっているが。

答 町長

先進自治体には回覧板などのお知らせや防災情報を通しているところもあるが、情報格差解消が第一の目的であり、多額の費用もかかるため、今の所そういう利用方法は考えていない。

答 町長

町の一般財源からの持ち出しは1億円程度と見込んでいる、維持経費相当額を賃貸料として受領するので、コスト負担はないと思う。

答 町長

問 光ケーブルを利用してテレビの難視聴地区の解消は可能ではないか。

答 町長

可能ということですが。

答 企画室長

光テレビの場合だと、概

算で月々5千円程度の使用料がかかり、共聴アンテナの方が維持費が低コストな

ので、町としては推進している。

### 大規模事業が続くが町の財政見通しは

問 FMだいが、光ケーブル、環境センター建設、町営池田住宅建設など大規模事業が続くが、町の財政見通しは。

答 町長

中期的な財政見通しにおいて平成27年度に地方債残高が107億円とピークになるが、事業内容の精査を常に行いながら事業費の抑制に心がけ次世代への負担軽減に努める。

問 中心市街地整備計画においては、より慎重な検討が必要ではないか。

答 町長

初めに金額ありきではなく、今後の話し合いで事業内容も変わってくる。維持管理にお金がかからないような施設を考えている。

### その他の質問

○環境センター建設について

○太陽光発電の各所の進捗状況について



旧黒沢中学校太陽光発電 地域活性化につながるか

だいで議会だより

# あなたの写真で表紙を飾りませんか

大子町議会では、議会が発行している広報紙をより身近なものに感じていただくため、「だいで議会だより」の表紙の写真を募集します。  
たくさんの方からのご応募をお待ちしています。

## 写真のテーマ

「人」 働く人、元気に遊ぶ子どもたち、趣味やボランティア活動をする人たち、学校行事やクラブ活動をする児童・生徒 など

## 応募資格

・大子町に住所を有している方

## 規 格

- ・カラープリントL～2Lサイズ（横長）
- ・デジタルデータの場合は500万画素以上
- ・合成、画像処理などの加工されたものは不可

## 応募規定

- ・被写体の人物が明らかに特定できる場合、必ず被写体に応募及び掲載の承諾を得たうえで応募してください。
- ・町内で撮影された未発表作品

## 応募方法

- ・任意の用紙に住所・氏名・電話番号・写真のタイトル・撮影日・撮影場所・コメントを記入のうえ、作品と一緒に郵送又は持参してください。
- ・デジタルデータの場合はEメールでも結構です。

## 応募期間

「随時受付」 発行時期にあった作品を選考します。選考は、定例会開催月の翌月10日ごろに行います。

## その他

- ・掲載作品の選考（採否の審査）は「大子町議会広報委員会」で行います。
- ・採用作品の著作権は大子町議会に帰属します。
- ・応募された作品は原則返却しません。
- ・掲載時には撮影者名・住所（大字まで）を掲載させていただきます。

## あて先

〒319-3526 大子町大字大子866番地  
大子町議会事務局  
☎0295-72-1115  
E-mail gikai@town.daigo.lg.jp





## 自治研究会に参加

2月19日に水戸市の茨城県市町村会館で町村議会議員自治研究会が開催され、町議会議員13名が参加しました。

研究会では、山梨学院大学法学部教授の江藤俊昭氏が「道州制の動向と地方議会の役割」、テレビ番組にも多数出演している政治アナリストの伊藤惇夫氏が「今後の政治課題と政局・政治展望」

と題した講演を行い、興味深い内容のお話を伺うことができました。



### 大子町副町長に

**坪 文男氏**

平成26年3月31日で任期満了により退任された成井重美氏の後任に坪文男氏（大子町池田）を選任することに同意しました。任期は平成26年4月14日から4年です。

### 教育委員に

**都筑 積氏**

大子町教育委員会委員の

都筑積氏が平成26年3月31日で任期満了となるため、同氏を引き続き任命することに同意しました。任期は平成26年4月1日から4年です。

### 人権擁護委員の候補者に

**野内友明氏（新任）**  
**菊池正順氏（再任）**

を推薦

人権擁護委員の荒蒔洋一郎氏が平成26年6月30日で任期満了により退任するた

め、後任として野内友明氏を法務大臣に推薦することとしました。

また、同日付けで任期満了となる菊池正順氏については、引き続き推薦することとしました。

任期は3年です。

### 固定資産評価審査委員に

**石井良二氏**

大子町固定資産評価審査委員会委員の岡崎俊一郎氏が平成26年3月28日で任期満了により退任するため、後任として石井良二氏（池田）を選任することに同意しました。任期は平成26年3月29日から3年です。

### 大子町議会広報委員会

委員長	齋藤 忠一
副委員長	金澤 真人
委員	大森 勝夫
委員	藤田 友晴
委員	藤田 稔
委員	吉成 好信
委員	野内 健一

議会を  
傍聴しましょう

議会傍聴は町政を知る良い機会です。お気軽にお出かけください。

### 6月定例会開催予定

▽4日（水）	開 会
▽5日（木）	▽8日（日）
自宅審議	
▽9日（月）	一般質問
▽10日（火）	一般質問
▽11日（水）	一般質問
▽12日（木）	逐条審議
閉 会	

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

### ★今回の表紙

役場前の桜が満開になると、多くのカメラマンが押川に架かる鉄橋を渡る水郡線（愛称・奥久慈清流ライン）を撮影に来ます。桜吹雪と水郡線もまた、絵になりそうです。

あとがき

今年3月11日で、あの東日本大震災より3年が過ぎた。月日が経つのは早いものである。大震災による原発事故では、いまだに多くの人たちが避難生活を余儀なくされ、もう二度と帰れそうにない人もいる。話を目の当たりにすると心が痛くなる。災害は月日が経つと忘れがちになる。今一度あの時を思い出し、いざという時の準備は必要である。各地域でも自主防災組織が整いつつある。自分たちの地域は自分たちが守る考えは必要と思われるが、高齢化の進んでいる地域の防災組織のあり方をもう一度考えなければと改めて思う。（齋藤忠一）